敷根の歴史探訪（れきしたんぼう）

ふるさとの「むかし」を見つけよう

国分市立図書館

平成１７年８月２５日（木曜日）

（１０時～１２時）

・集合場所：敷根コミュニティー広場（旧敷根小学校跡地）

・指導者　神宮司　耕二（資料作成）

（氏名）

小学校のあったところで「むかし」をみつけよう

① 敷根小学校跡地（小学校があったところ）

敷根小の校歌（旧）

１　名にほふ剱の　岩近く
　　形勝しめし我が校の
　　歴史もはや　５０年
　　済々多士の冀北なり
２　薬師の堂の筆の跡
　　勝浦姫の桂の樹
　　しのぶ昔の忠と勇
　　郷里のほまれ世のかがみ
　　（３．４は略す）

（敷根小の校章）

（１）　昔の校歌や校章から歴史をみつけてみよう。
（２）　学校跡地の樹木や石垣から昔の様子を考えてみよう。
（３）　敷根小学校の歴史を調べましょう。

小学校の跡地をあるいてみましょう。

（４）何の記念碑（招魂社）だろうか？　記念碑から何か見つけよう

・西南の役
・日清戦争
・日露戦争
・第二次世界大戦

○　いつの時代のことでしょうか？
○　みなさんの祖先（昔の人）のなまえはありませんか？
※記念碑の裏やまわりにたくさんの人の名前があります。

（敷根の神社）

②　剱神社を訪ねましょう。

毎年、夏に行われる「神幸祭」（おくだり）はどんないわれがあるのかな？

○　剱神社はどんな神社でしょうか

敷根のシンボル「剱岩」

（大昔神社があったといわれる）

（今の高速道路トンネル入り口の上）

昔敷根にはたくさんの神社があり人々の生活と結びついていました。地図をみてさがしてみましょう。今の敷根のどのあたりでしょうか。

法円寺の話

敷根には、昔、瑞慶寺（大儀庵）というお寺がありましたが、ある時期になくなりました。その後、敷根の人々の願いもあり、明治２９年に大分県から第一世住職円乗師が来て布教を始めました。その場所は昔「仕置き場」（刑場）だったので人々はよりつかず、石を投げる人もいたらしいです。だが、次第に人々は耳を傾け帰依する人も増え、大正５年法円寺となりました。

現在寺院も充実し納骨堂も増設され第五世住職となっています。

③　敷根火薬庫跡

敷根に火薬をつくる工場があったのだそうです。

- ○　どこにあったのだろうか？
- ○　いつごろあったのかな？
- ○　なぜ敷根に火薬工場ができたのかな？　火薬はどんなことに使われたのかな？
- ○　今は、工場はないけど、いつごろなくなったのだろうか？　（火薬工場のその後）

（鹿児島市教育委員会所蔵）

火薬製造に使われた水車小屋の跡

文久３年（１８６３）

敷根でつくられた「火薬」が明治維新の原動力となった

④　医師神社と水源地・門倉街道

敷根は豊かできれいな「水」の郷です。水と人々の生活を考えてみましょう。

医師神社

○　医師神社に行ったことがあるかな？
　　医師神社についてしらべましょう。

「書置きも　形見ともなれ筆の跡
　　われはいずくの土となるらん」
　　（平田三五郎）

○　ここは昔交通の要所であった。（門倉坂）日州通道

この道路はどのような役割をもっていたのだろうか？　敷根の人々とのつながりは？

旅人達は医師神社で旅の安全を祈り、つめたい水で疲れを癒したことだろう

水源地　*いたるところにきれいな水がわき出る・清水の郷「しきね」*

　敷根には、鹿児島県内でも、とても早い時期に水道が設置されました。水道の設置について調べてみましょう。現在は、旧水道と呼ばれています。

○　いつ頃水道はできたのでしょうか。
○　だれが寄付されたのでしょうか。お金はいくらぐらいかかったのでしょうか。
○　水道ができて人々の生活はどうなったでしょうか・

旧水道の水源地

感謝燈
（松山墓地）
水道設置にたいする
人々の感謝の気持ち

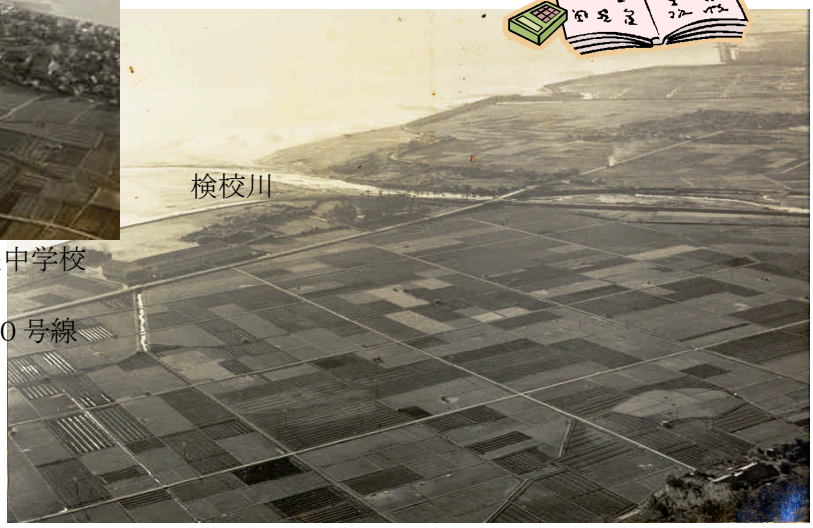
敷根には、きれいでおいしい「水」の、こんこんとわき出るところがたくさんあります。９５００年前の縄文の清水を訪ねてみましょう。

〇御法道の水（鹿児島県名水百選）　〇えんすぐらん　みっ（煙硝小屋の水）
〇おやくっさあん　みっ（医師神社の水）

敷根に伝わる伝説

５０年前の敷根です。今から５０年後の敷根はどのような発展を遂げているでしょうか。皆さんですばらしい敷根をつくってください。

今の敷根とくらべてみましょう



資料　敷根小学校閉校記念誌　モシターン（平成１４年９月号・平成１６年７，８月号）

古川繁郎様研究資料　敷根の神々（池田愼様作成）　国分郷土誌　三国名勝図会
永山一郎様資料（水道関係）